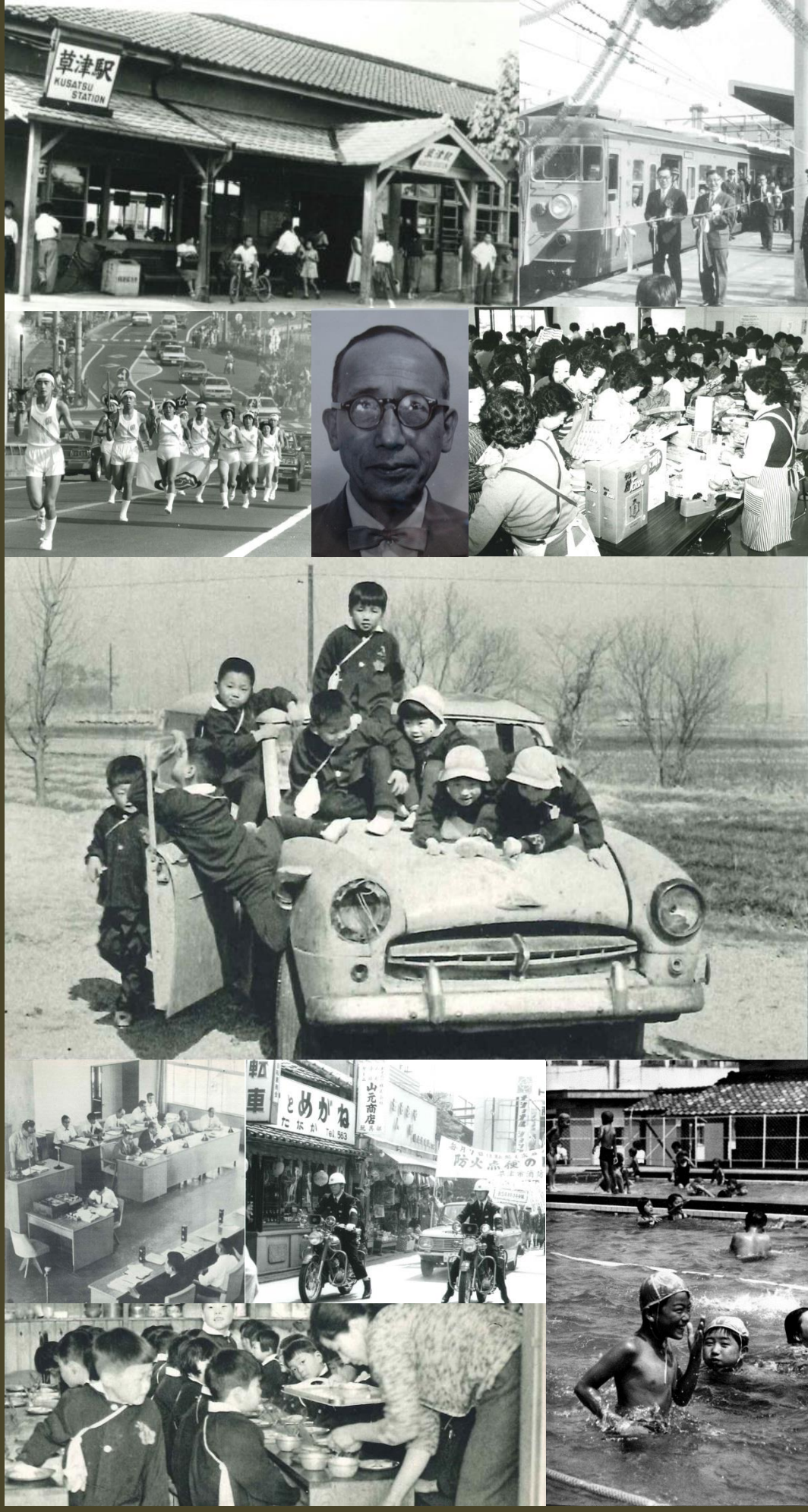
60年史

年表



公益財団法人　草津市コミュニティ事業団

地道な田園都市をめざす　ー誕生と草創の時代ー

昭和 29 年-昭和 44 年

1945(昭和 20)年。5 年におよぶ太平洋戦争は日本の敗戦により幕を閉じました。戦後の混乱が落ちつきをみせはじめた 9 年後の 1954(昭和 29)年 10 月 15 日に草津市が誕生します。県下6番目の市として、草津町・志津村・老上村・山田村・笠縫村・常盤村の 1 町 5 村による 3 万 2152 人による船出。人口規模の効率化をはかった、いわゆる昭和の大合併です。

この時代は草津市が都市として人々の生活基盤を整えながら、「地道な田園都市」をめざし農漁業や花卉園芸など第一次産業に力をいれた草津市の草創期にあたります。「もはや戦後ではない」(経済白書 1956)の言葉が象徴する復興と再生に向かう人々のエネルギーが街に活気を与える一方で、市内でも度々、労使紛争が起こるなど、そのエネルギーが生み出す光と影により混沌とした空気に包まれた時代です。また急激な都市基盤の整備により市の財政は2度の危機にさらされることとなります。

昭和 29 1954

草津市が誕生　人口 3 万 2152 人

草津・志津・老上・山田・笠縫・常盤の 1 町 5 村が合併

初の市長選挙　初代市長に黒川広太郎氏

マリリン・モンロー来日
ビキニ環礁水爆実験で第五福竜丸が被災

昭和 30 1955

草津市社会福祉協議会ができる

草津郵便局争議がおこる

自由党と日本民主党が合同　自由民主党結成
後楽園ゆうえんち(東京)

昭和 31 1956

国鉄　東海道本線が電化

渋川地区が栗東町より分離編入合併

県立農業短大から県立短大へ

日本住宅公団、入居者募集はじまる
メルボルン五輪　競泳、レスリングなどで金
日本　国際連合へ加盟
映画「太陽の季節」　太陽族が社会現象

昭和 32 1957

草津競馬場跡地に綾羽工業の工場

ソ連が人工衛星打ち上げ(スプートニク 1 号)
長嶋茂雄が巨人軍に入団

昭和 33 1958

笠縫小学校　新築校舎

市役所　新庁舎(現:込田公園)に移転

学習指導要領の改訂　週 1 時間の「道徳の時間」

アメリカが人工衛星打ち上げ
東京タワー
即席めん　チキンラーメン(日清食品)発売
フラフープ大流行

昭和 34 1959

市議会議員の定数が 24 となる

草津小学校に市内初のプール

キューバ革命がおこる
「少年サンデー」「少年マガジン」創刊
皇太子・正田美智子ご成婚
伊勢湾台風
花登筐(滋賀出身)の脚本ドラマ「番頭はんと丁稚どん」

昭和 35 1960

草津市商工会ができる

老上小学校　新築校舎

立石電機(現在のオムロン)草津事業所　開業

三池炭鉱争議が激化
安保条約の改定阻止運動高まる
新農薬 PCP 公害で琵琶湖の魚やシジミが大量死
ローマ五輪　マラソンでアベベが裸足で金
だっこちゃん(ウインキー)人形　大流行

昭和 36 1961	市議会で地方財政再建特別法に基づく財政再建方針可決	瀬田川洗堰(新洗堰)が完成 大鵬・柏戸が横綱に昇進　柏鵬時代はじまる うたごえ喫茶の流行
昭和 37 1962	三和中学校が廃止され 松原中学校に分校として編入 ヒカリ屋の前身「主婦の店ひかり屋」	琵琶湖で毎日マラソンが始まる キューバ危機
昭和 38 1963	婦人交通指導員制度はじまる(県内初) 伯母川の河口付近に草津温泉観光センター 草津市農業協同組合が誕生 (志津・老上・山田・笠縫・常盤) 松原中学校　新築校舎 国道一号線に県内初のアーチ型歩道橋建設	「鉄腕アトム」テレビ放映はじまる びわこ学園が大津市に開園 名神高速道路(栗東-尼崎)が開通 ケネディ大統領が暗殺　力道山が刺殺 バーモントカレー(ハウス食品)発売
昭和 39 1964	市制 10 周年 第 1 回市民文化祭　市民歌ができる 草津川のマンポの拡幅改修がおわる 東京オリンピックの聖火が市内を通過 志津で生産のカーネーション「青地ピーター」名称登録 陽の丘団地　造成	名神高速道路が全線開通 巨人軍　王貞治がホームラン 55 本の新記録 東海道新幹線(東京-新大阪)開通 東京五輪　女子バレーボール　東洋の魔女 シンザン　三冠馬 琵琶湖大橋ができる
昭和 40 1965	私立綾羽高等学校が開校 草津市文化協会が発足 湖南衛生プラントが完成	ベトナム戦争 佐藤首相が沖縄を訪問 朝永振一郎　ノーベル物理学賞 アイビールック・パンタロンが流行 エレキブーム
昭和 41 1966	上水道供給開始　都市ガス導入 草津の電話が自動化	全日空機が羽田沖に墜落 日本の人口が 1 億人を突破 ビートルズ来日　武道館公演 ウルトラマン　放映開始
昭和 42 1967	国鉄草津駅が橋上化 中央幼稚園　志津幼稚園　開園 草津市民憲章　制定	高見山が初の外国人関取 ツイッギー来日　ミニスカートブーム グループサウンズ　流行

昭和 43 1968

国鉄草津駅　西口開設

第 1 回歩こう会

笠縫小学校　新築校舎

平和堂・ヒカリ屋の大型店が草津駅前に進出

カーネーション栽培全盛　京都市場の 8 割占める

桜ヶ丘の造成はじまる

中央商業協同組合の 3F 建ビルが完成　5 つの専門店

金嬉老事件
イタイイタイ病が公害病に認定
小笠原諸島が日本に返還
びわ湖博覧会が大津湖岸で開催
川端康成　ノーベル文学賞
三億円事件
ボンカレー(世界初のレトルトカレー)発売
メキシコ五輪　男子サッカーで日本が初の銅

昭和 44 1969

第一次草津市総合計画策定

老上幼稚園が開園

鳩が森　南笠第一ニューランド　野路小林の宅地開発

第 1 回宿場まつり

安田講堂事件
アポロ 11 号の月面着陸に成功
千葉県松戸市に「すぐやる課」
江若鉄道さよなら花列車　江若バスの営業開始
「8 時ダヨ！全員集合」「ゲバゲバ 90 分」「サザエさん」が　放送開始

工業化「共働きとかぎっ子」 ー変化と流入の時代ー

昭和 45 年-昭和 55 年

大阪万博が開かれた 1970(昭和 45)年、草津市は草津市総合開発計画により長期ビジョンにたった計画的な市政と都市づくりへと転換をはかります。先の財政危機を教訓に「調和のとれた 10 万人都市づくり」を理念に掲げ、流入人口を増やしていくことで人口規模の適正化をはかっていくことに力を入れ始めます。そのため大企業や工場の誘致に取り組み、工業団地の造成も始まります。この誘致は民間企業による宅地開発も誘発し、人口は急激に増加しはじめます。

働く場が増えたことは働く女性を増やしました。ファミリー世帯を中心に「共働き」や「かぎっ子」という言葉に象徴される暮らしぶりが多くみられるようになります。また、急激な人口増加に伴い子どもの数も増え、保育所や小中学校が不足し、その設置に追われます。労働者世帯の生活や余暇活動も含めた労働者政策に力を入れる時代でした。

なお目標とした 10 万人突破は 1995(平成 7)年まで待つこととなります。

昭和 45 1970

国鉄東海道本線(草津-京都)　複々線化

市民会館　込田児童公園が完成

初の市立保育所(草津保育所)開設

野村　上笠　湖都町　宅地開発

日航機「よど号」が赤軍派学生にハイジャック
大阪万博(日本万国博覧会)
光化学スモッグ発生
銀座などで「歩行者天国」
三島由紀夫　割腹自殺

昭和 46 1971

野村町に市民総合運動公園

国鉄　新快速が草津駅発着

公害対策基本計画　公害パトロールカーによる監視・啓発

湖州平の宅地開発

大久保清による連続女性誘拐殺人事件
琵琶湖や瀬田川の魚から PCB が検出
環境庁　設置
カップヌードル(日清食品)発売
アンノン族　ボウリングの流行
第二次ベビーブーム　団塊ジュニア

昭和 47 1972

草津市土地開発公社が発足

市内の工場排水から PCB が検出

草津商工会議所が設立

横井庄一　グアム島のジャングルから救出
札幌冬季オリンピック　ジャンプ競技
「日の丸飛行隊」
連合赤軍浅間山荘事件
高松塚古墳の壁画発見
びわ湖放送(BBC)　本放送開始
沖縄が日本に返還

下笠区の圃場整備おわる
ロクハ浄水場ができる
草津初　国鉄東海道線の立体交差完成　山田-草津線
南草津ニュータウンの宅地開発
草津用水が完成

ミュンヘン五輪
　男子バレーボール初の金メダル
田中角栄首相訪中　日中共同声明に調印
上野動物園にジャイアントパンダ
　「ランランとカンカン」

昭和 48 1973

草津第二小学校ができる(草津小学校より分離)
移動図書館がはじまる
草津小学校　創立 100 周年
西友ストア　開店
学校給食センターができる
南笠第二ニューランドの宅地開発
勤労青少年ホームができる

ベトナム和平協定　調印
国鉄で「シルバーシート」登場
第 1 次 オイルショック
　トイレットペーパーの買い付け騒ぎ
プロ野球　巨人軍が V9 達成
江崎玲於奈　ノーベル物理学賞
日本赤軍　日航機ハイジャック事件
「ノストラダムスの大予言」出版

昭和 49 1974

山田小学校が現在の場所に移転
近江大橋が開通
草津市の人口　6 万人突破
市制 20 周年 「草津宿場史」刊行

小野田少尉がフィリピン・ルバング島から帰国
ユリ・ゲラーがテレビ出演　超能力ブーム
宝塚歌劇団「ベルサイユのばら」上演
　「ベルばら」ブーム
佐藤栄作　ノーベル平和賞
巨人軍　長島茂雄引退

昭和 50 1975

山寺工業団地の造成おわる

全国植樹祭が栗東町で開催
沖縄海洋博覧会
初の先進国首脳会議(サミット)フランスで開催

昭和 51 1976

馬場工業団地の造成おわる
矢倉で六価クロムによる公害問題
志那真珠養殖組合の生産高　最盛
シャルマンコーポ草津の入居開始(県下一の高層マンション)

田中前首相逮捕　ロッキード事件
モントリオール五輪
　体操コマネチ　史上初の 10 点満点
年末ジャンボ宝くじ　一等賞金 1 千万円
ピンクレディーがデビュー
琵琶湖に赤潮が大発生(以後 8 年連続)

昭和 52 1977

玉川小学校ができる(老上小学校より分離)
清掃工場(馬場町)　運転はじまる
市民体育館ができる
山田漁業協同組合の最高漁獲高が 1 億 9000 万円を超える
社会福祉センターができる

有珠山大噴火
王貞治に初の国民栄誉賞
カラオケの流行
キャンディーズ引退宣言
　「普通の女の子に戻りたい」

昭和 53 1978

草津市史の編纂はじまる

笠縫東小学校ができる(笠縫小学校より分離)

矢倉小学校ができる(草津小学校より分離)

草津東高等学校ができる

草津市合成洗剤対策市民運動協議会が発足

新東京国際空港(成田空港)開港
植村直己　犬ぞり単独で北極点に到達
宮城県沖地震発生
日本人の平均寿命が世界一(厚生省発表)
びわこを守る粉せっけん使用
推進県民運動連絡会　発足
口裂け女が話題に

昭和 54 1979

老上中学校ができる(草津中学校より分離)

県立老人福祉センター「ロクハ荘」ができる

奈良時代の製鉄遺構「野路小野山遺跡」の発掘

志津運動公園ができる

第 1 回　草津市民教養大学

勤労福祉センター・働く婦人の家　完成

初の国立大学一次試験(共通一次)
東京サミット(先進国首脳会議)
ソニーが「ウォークマン」を発表
県議会「琵琶湖富栄養化防止条例」成立
ソ連がアフガニスタン侵攻
インベーダーゲーム流行
「金八先生」「ドラえもん」放送開始
流行語「シカト」「ナウい」

昭和 55 1980

国鉄草津線が電化

新堂中学校ができる(松原中学校より分離)

滋賀県草津合同庁舎　完成

湖南消防組合西消防署　完成

野路岡田遺跡の発掘

モスクワ五輪
アメリカ、日本、西独など参加ボイコット
山口百恵が引退公演
金属バット殺人事件　ジョン・レノン射殺
ゲーム＆ウォッチ　漫才ブーム　竹の子族
中国残留日本人孤児 47 人が来日

憩いとゆとりの先に　ー成長と共存の時代ー

昭和 56 年-平成 2 年

草津駅前の再開発など、さらなる都市化が加速される時代となります。全国的なクルマ社会の本格的な到来に伴い、京滋バイパスやサンサン通りの開通など交通網の整備が進み、市民の移動性が飛躍的に高まります。市民生活では「憩い」や「ゆとり」を求める余裕も見えはじめ、図書館やスポーツ施設、ロクハプールの開設などが相次ぎ、物・資両面から文化的欲求を充足させる政策が進みます。

一方で、流入人口の急激な増加や生活様式の変化はいくつかの問題もはらんでいました。“支え合い・助け合い”といった隣り近所や地域のつながりが希薄化する現象が見えはじめ、それは草津市コミュニティ事業団の設立や草津市社会福祉協議会でのボランティアセンター開設へとつながります。また生活から出されるゴミは処理が追いつかないほどで不法投棄なども目立ちはじめます。人々の生活排水が流れ込む琵琶湖の汚染問題への対策も急がれました。

昭和 56 1981

″草津八大名所がきまる
志那の浜・芦浦観音寺・北山田そ菜園風景・草津宿本陣
矢橋港跡・旧草津川堤防道・青地城址・萩の玉川″

草津・栗東行政事務組合ができる

都市計画街路　下笠-下砥山線国鉄高架道路ができる

全日本実業団ソフトボール選手権　近畿地区予選

第 2 次総合開発計画 「活力ある調和のとれた市民都市」

総合体育館ができる

びわこ国体　開催　　市内では卓球・ソフトボール

草津駅前の再開発が始動

神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81)
アメリカがスペースシャトルの打ち上げ成功
チャールズ王子・ダイアナ妃が結婚
滋賀県でびわこ国体がひらかれる
沖縄本島でヤンバルクイナ発見
FORCUS　創刊
「北の国から」放送開始

キンモクセイ(市の木)・アオバナ(市の花)制定

昭和 57 1982	第 1 回くさつ産業フェア開催 第 1 回草津スポーツ大会開催 観音寺市(香川県)と姉妹都市提携 矢橋港遺跡の発掘 県立湖南農業高校が開校	ホテル・ニュージャパン火災 羽田で日航機が着陸寸前に墜落 琵琶湖に大型外輪船「ミシガン」就航 500 円白銅貨発行
昭和 58 1983	図書館(本館)ができる 矢橋帰帆島で初の花火大会 県立玉川高等学校ができる	東京ディズニーランドが開園 NHK 朝の連続テレビ小説 「おしん」が爆発的人気 戸塚ヨットスクール事件 サハリン沖で大韓航空機が撃墜される
昭和 59 1984	高穂中学校ができる(草津中学校より分離) (財)草津市コミュニティ事業団設立(シルバー人材業務開始) 市制 30 周年 京滋バイパス(国道 1 号線ー野路)開通	ロサンゼルス五輪　陸上カール・ルイスが活躍 県立近代美術館　開館 第 1 回世界湖沼環境会議が滋賀で開催 グリコ・森永事件 マイケル・ジャクソン「スリラー」
昭和 60 1985	近江大橋が四車線化 北山田漁港の改修工事おわる	日本電信電話公社・日本専売公社が民営化 豊田商事のペーパー商法が問題化 会長の永野一男氏刺殺 日本航空ジャンボ機墜落事故 ロス疑惑の三浦和義氏を逮捕 阪神タイガースが 21 年ぶりにリーグ優勝 日本シリーズも制する
昭和 61 1986	市役所でオンライン可　住民票などの即時交付が可能に 草津高等専修学校 30 年の歴史に幕	男女雇用機会均等法施行 アメリカ　スペースシャトルが発射後に爆発 チェルノブイリ原発事故
昭和 62 1987	志津南小学校ができる(志津小学校より分離) 社会福祉協議会にボランティアセンター開設 草津都市開発株式会社　設立	ゴッホの「ひまわり」 53 億円で落札 国鉄の分割・民営化(JR 発足) 広島カープの衣笠祥雄に国民栄誉賞 抱きしめて BIWAKO
昭和 63 1988	京滋バイパス(草津-京都久御山)が開通 ハミングロードが開通 私立光泉中学校・高等学校ができる ロクハ公園プールができる サンサン通り　草津駅西側三路線が開通	JR 西日本　京都-米原間の名称を「琵琶湖線」 青函トンネル開通　青函連絡船が姿を消す 日本初のドーム型球場　東京ドーム竣工 ソウル五輪　ドーピング問題本格化 リクルート疑惑事件

昭和　平成
64/元
1989

南笠東小学校ができる(玉川小学校より分離)

市道草津駅下笠線が開通

JR 草津駅開業 100 周年

マンポ(草津川トンネル)の塗替　壁面に昔の草津川の様子

エルティ 932 がオープン

昭和天皇が崩御
　皇太子が皇位を継承し「平成」となる
初の消費税　3%
中国　天安門事件
米ソ冷戦の終結　ベルリンの壁崩壊
　　東欧諸国の民主化
大津市に龍谷大学　開学
滋賀県選出の宇野宗佑が
　　第 75 代内閣総理大臣に就任
美空ひばり　死去

平成
2
1990

ごみ問題を考える草津市民会議　設立

湖南幹線砂川大橋　開通

花と緑の博覧会　大阪で開催
長崎・雲仙普賢岳　200 年ぶりに大噴火
日本人初の宇宙飛行士　秋山豊寛　宇宙へ

「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へ　ー飛躍と転換の時代ー

平成 3 年-平成 10 年

人口 10 万人を目前とした 1994(平成 6)年には立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)が開学。その半年後には最寄駅となる JR 南草津駅が開業。南草津駅周辺には高層マンションが建設され、子育てファミリー世代を中心に入居が始まります。人口の増加はさらに加速され 1997(平成 9)年にはついに彦根市を上回り、県内2位の都市へと躍進します。

都市基盤や市民の生活基盤の整備が落ち着きをみせ、1996(平成 8)年には改修していた国指定史跡草津宿本陣の一般公開にはじまり、水生植物公園みずの森や琵琶湖博物館がオープンするなど、市ではこの年を「観光元年」として観光資源を活用した政策が目立つようになります。

一方、1995(平成 7)年の阪神淡路大震災は日本中に大きな衝撃と無力さを実感させるとともに、復興支援に活躍したボランティアの姿は世間の耳目を集めました。

「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へと時代は移ろうとしていました。

平成
3
1991

草津養護学校ができる

第一びわこ学園が草津市に移転開園

第 3 次草津市総合計画 「活力と魅力あふれる生活文化創造」

湾岸戦争　ソビエト連邦解体
新宿に東京都庁
信楽高原鉄道　JR 西日本臨時列車と正面衝突
故　長谷川町子　国民栄誉賞

平成
4
1992

玉川中学校ができる(老上中学校より分離)

木瓜原遺跡の発掘

市役所新庁舎で業務開始

さわやか保健センター　草津アミカホール　開設

草津ウエスト(街道文化情報センター)　開設

ブラジルで国連環境開発会議(地球サミット)
バルセロナ五輪
　女子 200m平泳ぎで 14 歳の岩崎恭子が金
琵琶湖ヨシ群落保全条例
　ごみの散乱防止に関する条例　施行
国公立小中高等学校で第 2 土曜日が休校
佐川急便事件発覚

平成
5
1993

弾正公園テニスコート　開設

プロサッカー　J リーグ開幕
皇太子・小和田雅子　結婚
細川内閣発足　非自民 6 党連立内閣

平成
6
1994

立命館大学びわこ・くさつキャンパス　開学

伊佐々川放水路ができる

JR 南草津駅が開業

市制 40 周年

長寿の郷ロクハ荘が県より移管される

自民・社会党が連立　村山富市内閣
関西国際空港　開業
大江健三郎　ノーベル文学賞
ソニー　テレビゲーム機「プレイステーション」

平成 7 1995

草津市の人口　10 万人突破

込田公園ができる

阪神淡路大震災
東京で地下鉄サリン事件
Windows95 が発売

平成 8 1996

史跡草津宿本陣　一般公開はじまる

JR 草津駅前地下駐車場ができる

水生植物公園みずの森ができる

草津市人権擁護に関する条例　制定

県立琵琶湖博物館ができる

JR 草津駅西口にエイスクエア

JR 草津駅東口に「街道ふれあい広場」ができる

薬害エイズ問題で
　菅厚生大臣が血友病患者に直接謝罪
アトランタ五輪
　柔道　田村亮子が 2 大会連続で銀
病原性大腸菌 O-157　全国で猛威
ドジャースの野茂英雄がノーヒット・ノーラン
ペルー日本大使公邸人質事件

平成 9 1997

草津市観光物産館「脇本陣」ができる

草津近鉄百貨店ができる

総人口で彦根市を上回り県内 2 番目の都市となる

草津町（群馬県吾妻郡）と友好交流協定

消費税　3%から 5%に引き上げ
ダイアナ元英皇太子妃　パリで事故死
ニューヨーク株式市場が暴落
北海道拓殖銀行経営破綻・山一證券自主廃業
たまごっち　大流行
長野冬季五輪　スキージャンプ
　ラージヒル団体で日本チームが金
NPO 法・まちづくり 3 法

平成 10 1998

JR 草津駅西口　エスカレーター・エレベータ設置

草津コミュニティ支援センター開設

和歌山カレー事件
北朝鮮がミサイル発射　日本近海に落下
金融再生関連法案

市民・企業・行政がともに　ーパートナーシップと市民活動の時代ー

平成 11 年-平成 21 年

急激な人口増加と都市化が進んだひずみが、まちづくり・環境・障がい者・子育て・外国人など様々な分野で課題として現れだします。解決を行政だけに頼るにはもはや限界がみえ、新たな担い手としてボランティアや市民活動が注目されます。NPO 法の施行など市民活動を支える制度設計や社会的な基盤整備も後押しをし、1999（平成 11）年には市内で初の NPO 法人も誕生します。このような流れの中、草津市は全国的にも一早く市民・企業・行政が協働で取り組む「パートナーシップによるまちづくり」を打ち出します。

市民活動を支える中間支援施設として、まちづくりセンターや人権センターを開設。「パワフル交流　21」や「草津街あかり華あかり夢あかり」など市民主導のイベントも始まります。

また、付け替えられた新草津川の通水が始まり、「草津・田上 IC」の開通に続いて新名神高速道路が開通するなど市民の移動性が高まることとなります。

平成 11 1999

草津宿街道交流館ができる

南笠東公民館ができる

第 4 次草津市総合計画
「パートナーシップで築く　人と環境にやさしい　出会いの都市」

子どもネットワークセンター天気村が市内で初の NPO 法人に

欧州連合（EU）　単一通貨ユーロ導入
大手銀行 15 行に
　総額 7 兆 4500 億円の公的資金注入
日本初の脳死臓器移植
東京都知事に石原慎太郎氏
東海村ウラン加工施設で臨界事故
携帯電話の普及

平成 12 2000	草津グリーンスタジアムができる JR 草津駅の地下道路開通 市民活動団体交流イベント「パワフル交流 21」 初開催	介護保険制度が開始 九州沖縄サミット シドニー五輪 マラソン 高橋尚子が日本女子初の金 地方分権一括法
平成 13 2001	全国高校サッカーで草津東高校が準優勝 くさつ夢風車ができる	小泉純一郎内閣発足 アメリカ同時多発テロ発生 BSE(狂牛病)問題が深刻化 滋賀県で世界湖沼会議
平成 14 2002	かがやき通り 開通 新草津川に通水 JR 草津駅のバリアフリー化 まちづくりセンター 開設 市民交流プラザ・南草津図書館 開設 ぴーぷる(人権センター) 開設	日韓ワールドカップ アジア初開催 小泉首相 日本の首相として初めて北朝鮮を訪問 拉致被害者 5 人が北朝鮮より 24 年ぶりに帰国 田中耕一 ノーベル化学賞
平成 15 2003	渋川小学校ができる(草津第二小学校より分離) 公民館の市民センター化 第 1 回 草津街あかり華あかり夢あかり 開催	イラク戦争 十勝沖地震 イラク サダム・フセイン元大統領を拘束
平成 16 2004	熱中症予防情報の発令開始 TOWER111 オープン	アテネ五輪 平泳ぎ 北島康介が 100m、200mで金 マリナーズのイチローが 年間最多安打 大リーグ新記録 50 年ぶりの新球団 東北楽天ゴールデンイーグルス 韓流ドラマ ブーム
平成 17 2005	名神高速道路 草津・田上 IC が開通	第2次世界大戦 終戦 60 年平和祈念 愛・地球博 開催 個人情報保護法 施行
平成 18 2006	草津市桜憲章 制定 JR 南草津駅 西口自転車駐車場 開設	障害者自立支援法 ライブドアショック 第 1 回ワールド・ベースボール・クラシック サムライ・ジャパン優勝
平成 19 2007	渋川福複センターができる 渋川市民センターができる JR 南草津駅西口の駅前広場 共用開始 地球温暖化防止フェア in びわこ・くさつ 開催	初代 iPhone 発売 第 1 回東京マラソン 郵政民営化

平成 20 2008

熱中症厳重警報発令が年間 50 日超える

大型商業施設イオンモールが新浜町に開業

北京五輪　ソフトボールで日本が金
リーマンショック

平成 21 2009

くさつ夢本陣　えふえむ草津(コミュニティ FM)　開設

大路市民センターができる

市内の人口が 12 万人突破

初のイナズマロックフェスを開催

裁判員制度がスタート
民主党政権になる
マイケル・ジャクソン　死去
新型インフルエンザ　世界的大流行

“元気”と“うるおい”のあるまちへ　ー地域支え合いの時代ー

平成 22 年-現在

全国的に少子高齢社会・人口減少社会を本格的に迎えた現在。
“団塊の世代”と呼ばれた世代が定年を迎える時代に突入し、高度成長期以降に核家族による流入市民が急激に増えた草津市にも着実に高齢化の波が近づいています。認知症、孤独死、老老介護、災害時の助け合いなど家庭や地域に身近な問題が社会問題化しつつあります。草津市では誰もが安心していつまでも暮らしていけるまちづくりを進めるため、2010(平成 22)年の草津学区を皮切りに各小学校区単位で「まちづくり協議会」が設立されるなど、地域の足腰を強くしていこうとする動きが急ピッチで進んでいます。2014(平成 26)年には「草津市協働のまちづくり条例」も施行され、これらの動きを支えています。
高齢化は市民の移動を徐々に鈍らせます。まめバスの本格運行や一部の地域で導入された「支え合い運送支援車両」など、公共交通の空白地や移動に制約のある人に対する生活交通を確保していくなどの動きも始まります。
「“元気”と“うるおい”のあるまち草津」をめざし、次の時代へと新しい一歩を踏み出そうとしています。

平成 22 2010

第 1 回みなくさまつり

電子黒板を使った授業がはじまる

草津学区で市内初の
　まちづくり協議会「ひと・まちいきいき協議会」ができる
（以降、順次設立）

三ツ池運動公園ができる

市内の人口が 13 万人突破

第 5 次草津市総合計画 「“元気”と“うるおい”のあるまち草津」

日本年金機構　発足
小惑星探査機「はやぶさ」 地球に帰還
観測史上最高の猛暑
宮崎県で口蹄疫の被害が拡大

平成 23 2011

JR 西日本南草津駅が新快速の停車駅となる

草津市コミュニティ事業団が公益財団法人に移行

草津市消費生活センターができる

子育て支援センターができる

市立の幼稚園・小・中学校の全教室にエアコン設置

東日本大震災
FIFA 女子ワールドカップ
　なでしこジャパン優勝
地上デジタル放送に完全移行

平成 24 2012

淡水真珠養殖復活実験作業はじまる

草津商工会議所 「くさつバル」はじまる

「赤ちゃんの駅」オープン

草津市自治体基本条例が施行

ロンドン五輪に草津市出身の我孫子選手が棒高跳びで出場

東京スカイツリー開業
ロンドン五輪
　体操男子個人総合で内村航平が金
山中伸弥　ノーベル生理学・医学賞

平成 25 2013

まめバス本格運行を開始

草津まちづくり(株)ができる

草津市シティセールス　KUSATSU BOOSTERS　委嘱

住みよさランキングで草津が近畿 1 位に

富士山が世界文化遺産に登録
2020 年のオリンピックが東京に決定
消費税が 5%から 8%に
長嶋茂雄　松井秀喜　国民栄誉賞

平成 26 2014

史跡草津宿本陣楽座館ができる

草津市協働のまちづくり条例が施行

小学校でタブレット端末を活用した授業がはじまる

草津ふるさと寄附制度はじまる

JR 草津駅前に niwa＋(ニワタス)オープン

志津南地区と山田地区に地域支え合い運送支援車両が導入
（社会福祉協議会）

しが県民芸術創造館が市へ移管　草津クレアホールへ

福島・伊達市と友好交流協定

理化学研究所　STAP 細胞問題
男子テニス
錦織圭が4大大会で日本人初の決勝進出
ノーベル物理学賞　青色発光ダイオード(LED)
で赤崎勇・天野浩・中村修二の 3 人が受賞

2～3 割増

平成 26 年 10 月　現在

ふるさと草津 60 年史年表を楽しくするクイズ！

Q1　草津市は草津町・志津村・老上村・山田村・笠縫村・［①］村の 1 町 5 村による合併でした。その年、アメリカの大女優［②］が来日します。

Q2　ローマ五輪のマラソンでアベベが裸足で金メダルをとった年、草津に立石電機の営業所が開業します。立石電機は後の［③］です。

Q3　新幹線の開通や東京五輪が開かれた年、志津で生産されたカーネーションの［④］が名称登録されました。

Q4　大阪万博があった年、国鉄東海道本線の草津-京都間が［⑤］化されます。

Q5　ドラマ「北の国から」の放送が始まったその年、草津市の花がアオバナに、草津市の木が［⑥］に制定されました。

Q6　ベルリンの壁が崩壊した年、［⑦］小学校から分離した玉川小学校が開校します。

Q7　自民党・社会党が連立した村山内閣が誕生した年に、草津市に［⑧］大学びわこ・くさつキャンパスが開学します。

Q8　NPO 法が施行された 2 年後、［⑨］が草津で初めての NPO 法人となりました。

Q9　東京スカイツリーが開業した年、草津では「まちの憲法」と呼ばれる［⑩］条例が施行されます。